

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	訪問保健指導事業			事業コード	1679
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	永戸良治	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 8款 1項 2目 訪問保健指導事業(001-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 18年度～)					
事務事業の概要	国保加入者から5月診療での重複受診者と頻回受診者を抽出し、診療報酬明細書から詳しい状況を把握して、保健師による訪問指導及び健康教室を行うことで重症化を予防し、併せて医療費の抑制、適正化に資する。					
根拠法令等	国民健康保険法第82条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成17年度に高齢者健康指導事業が終了したことにより、それに代わる国保加入者の新規保健事業として平成18年度に開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
医療費適正化のため、本事業の強化がますます重要視される						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	40～74歳の国保加入者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 40～74歳の国保加入者 B. C.	単位 単位 単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 国保加入者の5月の診療状況から重複受診者及び頻回受診者を抽出し、レセプトから詳しい状況を把握して要指導者に保健師による訪問保健指導を行う。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 訪問保健指導及び健康教室等	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 重複受診要指導対象者 B. 頻回受診要指導対象者 C.	単位 単位 単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	国保加入者の疾病の重症化を予防する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 重複回数減少率=重複回数減少者数/要指導者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】 B. 頻回数減少率=頻回数減少者数/要指導者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 単位 単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に運営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位:千円) 1人当たり療養諸費用額(単位:円) 現年度収納率(単位:%) 実質単年度収支額(単位:千円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	40～74歳の国保加入者	人	43863	44268	45000	44,009	45,000	45,000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	重複受診要指導対象者	人	85	692	85	1,209	85	85	年度
活動 指標B	頻回受診要指導対象者	人	100	3,182	100	3,181	100	100	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	重複回数減少率=重複回数減少者数/要指導者数	%	21.1	4.4	22.0	2.4	22.0	22.0	年度
成果 指標B	頻回数減少率=頻回数減少者数/要指導者数	%	10.0	0.2	20.0	3.5	20.0	20.0	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,780	2,655	2,655	3,230	5,572	5,572	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	2,575	2,500	2,500	2,500	5,000	5,000	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	205	155	155	730	572	572	*****
	合計(④～⑧)(=A)	千円	2,780	2,655	2,655	3,230	5,572	5,572	*****
延べ業務時間数		時間							*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	0	0	0	0	0	0	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,780	2,655	2,655	3,230	5,572	5,572	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:重症化を予防することで、医療費の抑制、適正化を図ることができ、国保制度の健全運営に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由:国保制度の健全運営に結びついているため。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:生活習慣病等の受診率の多い年代を対象としている。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:保健師を増員することにより効果は示せると思うが経費との関係がある。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:平成22年度末から保健師が1名増員されたことにより、成果の向上が期待される。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:重症化を予防できなくなり、国保制度の健全運営に支障をきたす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:保健所での保健事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容:保健所での保健事業と連携を図ることにより、成果の向上が期待される。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事業費はほとんど人件費のみ。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:平成22年度末より非常勤保健師2名で実施しているが、対象者を指導しきれないため
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容:平成22年度末から訪問保健師を増やし、さらに多くの要指導対象者を訪問する。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容:事業目的から、訪問対象者から費用を徴収する事業ではないため。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 訪問保健指導内容の充実と訪問保健師の増員。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 人件費の増。</p>
---------	---

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>22年度から1名増員することとしたが、なかなか保健師が見つからず、23年2月からの採用となった。 対象者が非常に多いことから、絞り込んで訪問しているが、訪問の効果については、今後も継続的に検証していく必要がある。 また、人間ドックの受診者への保健指導まで手が回っておらず、今後、頻回受診や重複受診などとあわせ、費用対効果を勘案しながら実施方法を検討して行く必要がある。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止  ↓ </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p>時期: 年度から</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			